

平成 29 年 3 月 31 日

天然ゴム製品の使用による皮膚障害は、ラテックスアレルギーの可能性が あります。アレルギー専門医に相談しましょう。

ラテックスアレルギーは、皮膚と天然ゴム中のラテックスタンパク質との接触により、赤み、かゆみ、じんましんなどの皮膚障害が発現するものですが、大きな特徴は、まれにアナフィラキシーショック¹（血圧低下や意識障害など）を引き起こす場合があることです。アナフィラキシーショックは最悪の場合、死に至ることもあり、非常に危険です。

天然ゴム製品を使用した際に皮膚障害を発現したことがある方は、ラテックスアレルギーの可能性がりますので、天然ゴム製品との接触は控え、アレルギー専門の医療機関に相談して、御自身がラテックスアレルギーかどうかを確認しましょう。

また、ラテックスアレルギー患者は、栗やバナナなどの果物を食べてラテックス・フルーツ症候群²を発症することもありますので、果物の摂取にも注意が必要です。

1. ラテックスアレルギーについて

ラテックスアレルギーとは、天然ゴムに含まれるラテックスタンパク質がアレルゲンとなって、アレルギー症状として、赤み、かゆみ、じんましんなどの皮膚障害が発現し、まれに、呼吸困難、血圧低下や意識障害などのアナフィラキシーショックを引き起こすことが特徴です。

また、ラテックスアレルギー患者は、果物の摂取によるラテックス・フルーツ症候群を発症することがあり、特に栗、バナナ、アボカド及びキウイフルーツは、発症リスクが高く、重症化するので注意が必要です。

ゴム手袋、ゴム風船、コンドーム、医療用チューブ（カテーテル）などのゴム製品では、製品によっては天然ゴムが使用されていることがあります。

日本ラテックスアレルギー研究会（別紙参照）によると、ラテックスアレルギーは、天然ゴム製のゴム手袋を常時着用しているなどで皮膚や粘膜とラテックスタンパク質との接触の頻度が非常に多かったり、慢性的な肌荒れなどで皮膚表面のバリア性（異物

¹ 「アレルゲン等の侵入により、複数臓器に全身性のアレルギー症状が惹起され、生命に危機を与え得る過敏反応」をアナフィラキシーといい、「アナフィラキシーに血圧低下や意識障害を伴う場合」をアナフィラキシーショックといます（一般社団法人日本アレルギー学会 2014「アナフィラキシーガイドライン」の定義より）。

² ラテックスアレルギー患者が、栗、バナナ、アボカド及びキウイフルーツなどといった果物やその加工品を摂取した際に発症することがある、アナフィラキシー、喘鳴、じんましん、口腔アレルギー症候群などの即時型アレルギー反応のことをいいます。（日本ラテックスアレルギー研究会 ラテックスアレルギー安全対策ガイドライン作成委員会作成「ラテックスアレルギー安全対策ガイドライン 2013」の第 7 章から）

侵入を防ぐ機能)が低下している状態³で天然ゴム製品と接触していたりすると、発症リスクがあることが分かっています。特に、医療従事、製造業、清掃業や介護業などに従事していて天然ゴム製のゴム手袋を頻繁に着用している方、手術などの医療行為を何度も受けている方⁴、アトピー性皮膚炎などで慢性的に肌荒れを起こしている方は、発症リスクが高いため、注意が必要です。

図1 ラテックスアレルギーによる皮膚障害の一例⁵



左図：天然ゴム製のゴム手袋による症状⁶ 右図：天然ゴム製のゴム風船による症状⁷

2. ラテックスアレルギーの発症事例

日本ラテックスアレルギー研究会では、学術会議でラテックスアレルギーに関する発症事例の報告を毎年行っています。

【事例1】天然ゴム製の手袋でラテックスアレルギーを発症した事例

30歳代のアルバイト店員が、ファーストフード店で就業中に天然ゴム製のゴム手袋を装着したところ、全身にじんましんが出現し、医療機関に搬送された。検査の結果、ラテックスアレルギーと診断された。医師から、仕事中は、天然ゴムを含まない手袋（ビニール手袋）を使用することを指導された。

（報告年：2014年、30歳代女性）

【事例2】手術歴がある子供がゴム風船でラテックスアレルギーを発症した事例

5歳の子供がゴム風船で遊ぶと、唇とまぶたが腫れる症状を繰り返すようになったので、医療機関を受診した。問診により、過去に当該子供が脳外科手術を2回受けていたことから、ラテックスアレルギーが疑われた。そこで検査したところ、ラテックスアレルギーと診断された。

（報告年：2005年、5歳男性）

³ 皮膚表面の表皮にある角質層の働きの一つである異物の侵入を防止するバリア機能が、肌荒れで角質層が剥がれてしまうことで低下し、皮膚内部に異物が侵入しやすくなる状態になります。

⁴ ラテックスタンパク質との接触頻度及び医療行為の頻度については、患者自身の体質や使用時の体調などの個人差、また使用した天然ゴム製品の違いや品質差、使用時間や使用環境などにより発症条件（又は発症要因）に影響を受けるため、統計的な調査が難しく、一概に頻度の定量的な定義ができないのが現状です。

⁵ 図1の画像は「ラテックスアレルギーのすべて」（2007年発行 編集者：松永佳世子、発行者：須摩春樹 発行所：株式会社学研メディカル秀潤社）に掲載されている画像。

⁶ 画像提供者：福岡歯科大学 総合歯科学講座 教授 内藤徹氏

⁷ 画像提供者：東京都立小児総合医療センターアレルギー科部長 医師 赤澤晃氏

【事例 3】ラテックスアレルギー患者がアナフィラキシーショックを発症した事例

30 歳代の看護師が、業務で使用していた天然ゴム製のゴム手袋で手指にかゆみが発現したため、皮膚科で検査したところ、ラテックスアレルギーと診断された。診断と同じ月に、栗きんとんを摂取したところ、発作性のせきと喘鳴（ぜんめい：ゼーゼー又はヒューヒューという呼吸音）が出現したので、救急外来を受診した。診察の結果、気道内の粘膜のみに発疹（ほっしん）の症状があったので、アドレナリンを投薬し、一旦は改善したが、その後、抗アレルギー作用薬を点滴したところ、更に動悸、吐き気、意識混濁が起こった。確認したところ、点滴に使用する管に一部天然ゴム製のゴム管を使用していたことから、栗と天然ゴムによるアナフィラキシーショックを起こしたと疑われ、そのまま入院となった。

（報告年：1998 年、30 歳代女性）

【事例 4】栗の摂取でラテックス・フルーツ症候群を発症した事例

20 歳代の看護師が、甘栗を大量に摂取したところ、顔面のむくみ、呼吸困難感、動悸（どうき）、全身にかゆみを伴うむくみとじんましんが出現したため、救急外来を受診した。アドレナリン及び抗アレルギー作用薬の投薬では症状が改善しなかったため、そのまま入院して輸液（電解質液の点滴処置）をすることにより、翌日には全ての症状が治まった。後日検査をしたところ、ラテックスタンパク質と栗でアレルギー陽性が認められたため、ラテックス・フルーツ症候群と診断された。

（報告年：1998 年、20 歳代女性）

【事例 5】アトピー性皮膚炎患者が医療処置でラテックスアレルギーを発症した事例

30 歳代の元美容師で、幼少期よりアトピー性皮膚炎があり、美容学校に入った頃すぐにパウダー付きのゴム手袋でかゆみがあり、歯科治療時に口唇がかゆくなった。美容師の時は手荒れがひどく、ゴム手袋を使用すると手にかゆみと腫れが出ていた。テレビでラテックスアレルギーのことを知ったので、自分はラテックスアレルギーではないかと考えた。その後、婦人科で手術をすることになり、医療機関で検査を実施したところ、ラテックスアレルギーと診断された。

（報告年：2012 年、30 歳代女性）

3. 消費者の皆様へ

天然ゴム製のゴム手袋やゴム風船などの使用時に手や唇に皮膚障害を発現した経験があれば、ラテックスアレルギーの可能性が疑われます。このような経験がある場合には、天然ゴム製品と接触することは避け、アレルギー専門の医療機関に相談し確認しましょう。自分自身にアレルギー体質があることを認識しておくことは、皮膚障害やアナフィラキシーショックの予防策の一つです。

もし、天然ゴム製品を使用してラテックスアレルギーと疑われる皮膚障害の症状が発現した場合には、医療機関での診断・処置が必要ですので、速やかに医療機関を受診してください。

アレルギー専門の医療機関は、一般社団法人日本アレルギー学会のウェブサイトから専門医の検索が可能です。

○一般社団法人日本アレルギー学会ウェブサイトの専門医検索ページ

http://www.jsaweb.jp/modules/ninteilist_general/

ラテックスアレルギーと診断された場合、医師の指示に従い、以下の点に注意して再発防止に努めましょう。またアドレナリン自己注射薬の携帯の必要性についても医師と相談しておきましょう。

<再発防止に向けた注意点>

- ① 天然ゴム製品との接触は避けましょう。ゴム製品を使用する場合には、当該製品に天然ゴムが含まれているかを確認しましょう。成分表示が無い場合には、販売店や事業者を確認してください。
- ② 医療機関の診察や手術を受ける際には、ラテックスアレルギーであることを、あらかじめ医師や看護師に伝えましょう。
- ③ 果物の摂取によるラテックス・フルーツ症候群の発症のおそれがあることを理解して、摂取を控えましょう。栗、バナナ、アボカド及びキウイフルーツという特定の果物は、発症リスクが高く、重症化することが分かっていますので、特に注意が必要です。

また、子供についても、天然ゴム製の玩具で、唇やまぶたなど体の一部が腫れる症状を繰り返す場合は、ラテックスアレルギーの可能性が考えられますので、天然ゴム製品との接触を避けるとともに、医療機関を受診しましょう。

子供がラテックスアレルギーである場合は、学校や保育園の担当者にその旨を伝えておくことが重要で、その情報が職員全員に周知されていることも確認しましょう。詳細については、「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」や「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」を御参照ください。

○学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン

(http://www.gakkohoken.jp/book/ebook/ebook_1/1.pdf)

○保育所におけるアレルギー対応ガイドライン

(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/pdf/hoiku03.pdf>)

4. 関係業界団体の取組

ゴム製品を扱う業界では、1991年の米国での天然ゴム製品での死亡事故発生を受け、ラテックスアレルギーへの取組として、天然ゴム製品中のラテックスタンパク質の減量化などの品質改善や、天然ゴムの代替となる素材を用いた製品の検討・販売などを行ってきました。

また表示において、日本グローブ工業会では、家庭用手袋を安全かつ適正に使用していただくために、「家庭用手袋の品質表示要領」を設定し、手袋に使われている材質（天然ゴムや合成ゴムなど）や使用上の注意を製品又は製品パッケージに表示し、消費者に注意を呼び掛けており、所属会員に対してこれらを徹底することを指導しています。

<本件に関する問合せ先>

消費者庁消費者安全課 岡崎、鈴木

TEL : 03 (3507) 9137 (直通)

FAX : 03 (3507) 9290

URL : <http://www.caa.go.jp/>

厚生労働省健康局がん・疾病対策課 山田、杉山

TEL : 03 (3595) 2192 (直通)

FAX : 03 (3595) 2193

URL : <http://www.mhlw.go.jp/>

経済産業省 製造産業局 素材産業課 辻井、喜多、森野

TEL : 03 (3501) 1737 (直通)

FAX : 03 (3580) 6348

URL : <http://www.meti.go.jp/>

<別紙> ラテックスアレルギーは身近なゴム製品で起こります

日本ラテックスアレルギー研究会 理事長 赤澤 晃
(東京都立小児総合医療センターアレルギー科 部長)

ラテックスアレルギーは、消費者の皆様が身近に触れている炊事用ゴム手袋、ゴム風船、スポーツ用具などの天然ゴム製品によって、じんましんやアナフィラキシー、アナフィラキシーショックを引き起こす疾患です。

天然ゴム製品によって起こるアレルギーには、もう一つ、ゆっくりと慢性に進行して湿しんが起るアレルギー性接触皮膚炎があります。当研究会では、ラテックスアレルギーやアレルギー性接触皮膚炎を消費者の皆さんに知ってもらうことと、検査方法や予防方法の研究を行っています。

即時型のラテックスアレルギーでは、初めは、皮膚や粘膜のかゆみであっても、ある時から呼吸困難や血圧低下を引き起こし重症化するアナフィラキシーショックを引き起こすことがあります。アナフィラキシーショックは死に至る可能性もありますので、非常に危険です。現在までに、国内での死亡例の報告はありませんが、海外では15例の死亡例が報告されています。

なぜラテックスアレルギーになってしまうかという、ゴム手袋から溶け出したラテックスタンパク質が皮膚からしみこむことでアレルギー反応を起こす抗体を作ってしまうことがあります。そのため、ラテックスタンパク質に接触する機会が多い場合や皮膚のバリア機能が弱っているとラテックスアレルギーを起こしやすくなります。どのような人かという、手術歴の多い人、医療従事者、皮膚に湿しんがある人（アトピー性皮膚炎）です。しかし、こうしたリスクのない人でも、ラテックスアレルギーの報告例があるので誰もが注意が必要です。

消費者の皆様にご気を付けていただきたいことは、次の症状がある場合は、ラテックスアレルギーが疑われるということです。つまり、天然ゴム手袋を使用して手が赤くなること、ゴム風船を膨らませて唇が赤くなったり、かゆくなったりしたこと、ラテックスタンパク質と交差反応性⁸がある、栗、バナナ、アボカド、キウイフルーツなどを食べて、口の中のかゆみ、じんましん、腹痛、アナフィラキシーを起こしたことがある場合です。疑わしい症状がある場合は、アレルギー専門医を受診することをおすすめします。ラテックスアレルギーの検査では、血液検査、皮膚テストを行います。いずれも健康保険や国民健康保険などの適用内（ただしアレルギー症状が無い状態での検査は適用外）で行えます。

医療関係者の皆様にご気を付けていただきたいことは、消費者の皆様がラテックスアレルギーをお持ちであることを知らずに受診しますので、薬剤アレルギーと同様にラテックスアレルギーの有無を問診するようにしてください。

天然ゴムは、便利な素材ですが、身の回りにたくさん存在するので注意が必要です。リスクのある人は、先ほど述べた人以外にも、製造業の人、介護関係で手袋を多用する人です。

ラテックスアレルギーに限らず、御自身が持つアレルギーを知っておくことは、安心して日常生活を送るためには必要です。御心配な方は、医療機関に相談してみてください。

⁸ フルーツのタンパク質の分子構造の一部がラテックスタンパク質とよく似ているものがあり、抗体が両者を識別できないため、フルーツにも反応して、アレルギーを起こすことをいいます。